

平成 29 年 2 月 5 日 (日) 13:30~16:00

場所：湯っ足り神田茶屋 講師：内藤直樹 (徳島大学総合科学部准教授)  
コーディネータ：澤田 俊明

○連携：かみかつ植物系リソース研究会、神田満天星会議

○上勝町の雑穀資源

・上勝町では、生産される雑穀 (タカキビ、もちむぎ、黒米など) のほか、徳島県内他地域では絶滅に近い自生えの雑穀 (シコクビエほか) 等が確認され、上勝町地域が作物遺伝子の保全に重要な地域であることが確認できました。(平成 27 年度上勝学講座より)

○本講座の目的：雑穀の価値を多面的に学び、雑穀を試食し、雑穀活用の可能性を探ります。

○会場 湯っ足り神田茶屋 (神田徳島県勝浦郡上勝町旭丸山)

時間	内容
13:30	・開会
13:40	・学ぶ：雑穀の価値
14:10	・試食：雑穀、雑穀加工品
14:50	・活かす：雑穀活用の可能性
15:10~16:00	・ワークショップ、閉会



平成 29 年 2 月 12 日 (日) 9:30~12:00

場所：月ヶ谷温泉ムーン 講師：福井裕行 (徳島大学名誉教授 (薬学部))  
コメンテータ：笠原二郎 (徳島大学薬学部准教授)、コーディネータ：坂本 真理子

連携：かみかつ植物系リソース研究会、月ヶ谷温泉

○上勝町の晩茶の効能

・花粉症アレルギーの発症には2つの要素があり、1つは抗ヒスタミンで抑制され、もう1つは晩茶で抑制されることが、薬学部福井先生等の研究により科学的に証明されました。また、「たまねぎ」、「のぶどう」は抗ヒスタミンと同じ作用が期待できます。(平成 27 年度上勝学講座より)

○本講座の目的

・花粉症アレルギーのメカニズムと晩茶の効能を学び、国内の花粉症 3000 万人をターゲットとする、上勝町の晩茶の発信、産業化、地域再生の可能性を探ります。晩茶とたまねぎ、のぶどうを試食・試飲。

○会場 月ヶ谷温泉ムーン (上勝町大字福原字平間 71-1)

時間	内容
9:30	・開会、挨拶：花本靖 (上勝町長)
9:40	・学ぶ：病気の成り立ちと食品
10:10	・試食：晩茶とたまねぎ、のぶどう
10:50	・活かす：晩茶で地域に根を張る産業づくり
11:10~12:00	・ワークショップ、閉会



<定員各 20 名、参加費無料、実費試食代 300 円、要申し込み・先着順>

主催：徳島大学 地域創生センター 上勝学舎

TEL：088-656-7642 FAX 088-656-9880 (担当：吉田 仁美) E-mail：chkoukenk@tokushima-u.ac.jp